



令和5年度 学校便り

令和5年10月31日

鹿本だより11月

江戸川区立鹿本小学校長 奥村 孝史

音楽は世界の言葉

校長 奥村 孝史

10月に行われました学校公開には多くの方にご来校いただきありがとうございました。通常の教科に加え、道徳地区公開講座をご覧になっていただきました。授業後の懇談会でいただいたご意見をもとに教育活動の改善に努めてまいります。

現在、11月17、18日に行われます音楽会に向け、練習に一層熱が入ってきました。1学期から取り組んだ学年もあり、その成果がしっかり出てきています。本番まで、あと3週間程ですから、しっかり体調を整えて練習を乗り切ってほしいと思います。



さて、今年のカレンダーも後僅かになりました。十一月は別名「霜月」とも呼ばれるように冷気が日ごとに増す頃ですが、「神楽月」という異名からは、色鮮やかな紅葉とともに秋深く文化や芸術の香りを感じさせる季節です。「神楽」の語源は、神様が天から降りてくる場所をさす言葉「神座（かみくら）」で、神様に楽しんでもらおうと舞い踊ったことから「神楽」と記されるようになったとも、神前舞楽を略して「神楽」と書かれたなど諸説があるようです。日本の芸能の原点でもある「神楽」が「神遊び」と称されたように、「神楽月」にはこれから寒い冬に向かう時節の中で、楽器を奏でうたい楽しみながら鋭気を養おうという昔の人の心が込められているように思います。本校の十一月（神楽月）最大の学校行事は、校内音楽会です。「音楽は世界の言葉」「歌は、世界の共通語」とよく言われます。言葉が通じなくても、その言葉を歌にすると世界の人と気持ちが伝わると感ずるように、音楽は頭で考えて言葉で説明をしなくても分かり合える不思議な力をもっています。言葉は他者とのコミュニケーションにとって無くてはならないものですが、音楽は時に言葉以上の強力なメッセージをもって人の心を揺さぶります。まさに「音楽は世界の言葉」です。実際、私自身が最も元気が出る曲は洋楽で、英語の歌詞は何を言っているか詳しくわかりませんが、その曲を聴くだけで自然と元気が出てきます。ただ、いかに「音楽が世界の言葉」といえども、それは受け取る側の感性にかかっています。音楽科の目標には「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、…」とあります。普段の音楽の授業はもちろんですが、せつかく3年に一度の音楽会の機会ですから、この練習期間から本番の日にかけて、演奏をする側、演奏を聴く側、どちらの立場からも音楽を体全体で受け止め、感性を磨いてほしいと思います。

●11月の目標

生活目標「礼儀正しくしよう」

- ・正しい言葉遣いをしましょう。
- ・すすんで挨拶やえしゃくをしましょう。

保健目標「教室の空気をきれいにしよう」 「トイレをきれいに使おう」

- ・休み時間に窓を開けて空気を入れかえる。
- ・教室の温度やにおい、ごみ、ほこりを感じ取る。
- ・流し忘れていないか、汚れている所はないかを確認する。

給食目標「自分の分は食べきろう」

- ・残さず食べる習慣を身につける。
- ・食事ができることに感謝する。

●11月の生活指導

最近、朝晩冷えるようになってきました。最近、防寒着を着てくる児童も多くなっています。屋内では上着は脱ぐことになっているので、屋内、屋外で調節できる服装を心がけてください。「ポケットに手を入れて歩かない。」「前はきちんとしめる。」「フードはかぶらない。」など、防寒着の指導をご家庭でもお願いいたします。